堀内・城下町・平安古地区ゆかりの幕末の志士・藩士たちにまつわるストーリー

江戸期

⑲村田清風（1783～1855）

維新の礎・村田清風の天保の改革

村田清風は、天保年間に藩の財政改革を進めました。また防長四白（米・塩・紙・蝋）による産業の振興や教育改革などに貢献し、その後の坪井九右衛門・周布政之助らの改革に大きな影響を残しました。

ポイント 萩藩での天保の改革は？

13代藩主毛利敬親に起用された村田清風が中心になって天保11年(1840)ごろから行った藩政改革。人材の登用、藩財政の開示と赤字財政の克服、藩外資金の増収、軍事力の強化、明倫館の拡充などを行いました。

志半ばで散った志士・藩士たち

⑱久坂玄瑞（1840～1864）

松下村塾の双璧 久坂玄瑞

久坂玄瑞は、吉田松陰から「天下の英才」と絶賛され、その妹文と結婚しました。松陰没後はその遺志を受け継ぎ、尊王攘夷運動を推進し攘夷の急先鋒として活動。京都を追放された長州尊攘派の失地回復を目指して奔走するも、**禁門の変**に敗れ自刃しました。

幕末期

㉗高杉晋作（1839～1867）※1

幕末の風雲児 高杉晋作

高杉晋作は、久坂玄瑞と並び「松門の竜虎・双璧」と称され、欧米列強に支配された上海視察で衝撃を受け、日本の危機を救おうと使命感を燃やしました。**奇兵隊**を結成し挙兵、内戦を経て幕府軍撃退の指揮を小倉口で執るも、結核に倒れ下関で病死しました。

ポイント 禁門の変とは？

元治元年(1864)7月19日、長州藩と会津藩・薩摩藩らの間で起きた戦闘。蛤御門の変ともいいます。尊王攘夷を主張し朝廷に支配的影響力を有していた長州藩は、文久3年(1863)8月18日の政変で京都から追われたため、一部の過激派が実力行使で巻き返しを図ろうとしていました。

ポイント 奇兵隊とは？

文久3年(1863)6月、農民など身分を問わず志のある者なら誰でも入れる軍隊として晋作が結成。下関防御を目的として結成されましたが、長州藩の方針が攘夷から倒幕へと移ることに従い、外国軍から幕府軍へと戦う相手も変わっていきました。

長州藩・三家老の悲劇

禁門の変により、長州藩は「朝敵」つまり天皇に背く敵となり、天皇は幕府に長州征討を命じます。一方、長州藩では尊攘改革派が失脚し、椋梨藤太ら保守派が実権を握り、幕府に恭順します。保守派は、禁門の変の責任者として益田右衛門介(親施)・福原越後(元僩)・国司信濃(親相)の三家老を切腹させ、その首を幕府へ差し出して謝罪しました。堀内地区には犠牲となった三家老の屋敷跡が点在しています。

❼国司信濃（1842～1864）

❸益田右衛門介（1833～1864）

❽福原越後（1815～1864）

㉓桂小五郎（木戸 孝允）（1833～1877）

松陰門下の兄貴分 桂小五郎（木戸孝允）

桂小五郎は、藩校明倫館で吉田松陰に兵学を学び、京都で尊王攘夷運動に奔走するも、禁門の変後は但馬国出石（兵庫県豊岡市）に潜伏。慶応2年(1866)、長州藩を代表して**薩長同盟**を締結、さらに版籍奉還や廃藩置県などを推進し、中央集権国家の樹立に貢献しました。

ポイント 薩長同盟とは？

藩の実権を握った木戸孝允が慶応2年（1866）1月、坂本龍馬の仲介により京都で西郷隆盛と薩長同盟を結び、幕府への対抗を目指すようになりました。

明治維新後の長州人の活躍

明治期

楫取素彦（1829～1912）※2

山県有朋（1838～1922）

杉孫七郎（1835～1920）

桂　太郎（1847～1913）

伊藤博文（1841～1909）

田中義一（1864～1929）

明治4年(1871)、新政府は地方制度を改め、藩を廃止して県を置き、各県には県令（現在の県知事）を、東京・大阪・京都には府知事を置きました。その際には、楫取素彦や杉孫七郎など藩校明倫館などで学んだ長州出身者が県令に就きました。また、明治18年(1885)、内閣制度ができると、伊藤博文ほか山県有朋や桂太郎、田中義一などが総理大臣や各大臣に就任しました。

維新の礎となる人材を育成した藩校・明倫館

古明倫館跡（堀内）

藩校明倫館は5代藩主毛利吉元により、享保4年(1719)萩城三の丸(堀内)に創設されました。

旧萩藩校明倫館（江向）

13代藩主毛利敬親により、文武奨励を目的に嘉永2年(1849)に萩城下の中央に移転・拡充されました。

吉田松陰は、両方で兵学を教えていました。その後、松陰は松下村塾で志士として活躍する多くの若者たちを指導します。

武士を救った夏みかんストーリー

⑮小幡高政（1817～1906）

小幡高政は幕末期には萩町奉行、江戸、大阪の留守居役などを歴任。安政6年には吉田松陰への死罪申し渡しにも立ち会い、四境戦争では芸州口に出陣しました。明治維新後は禄を失い生活に苦しむ士族の救済のため武家屋敷地での夏みかんの栽培に着手、耐久社を設立し、産業化に成功。萩を代表する名産品に育てあげました。

夏みかん栽培発祥を伝える橙園之記

高政は、自邸（現在の旧田中別邸）が夏みかん栽培発祥の地であることを後世に伝えるため、明治23年(1890)に「橙園之記」の碑を建て、次のように記しました。

『夏みかん畑は、明治9年(1876)この場所に初めて開かれました。その後繁殖して14年後の今日では、この畑の夏みかんは五百本余りになりました。最初は皆、私(小幡)が率先して夏みかんを栽培するのを疑いの目でみたり、あざ笑ったりしました。しかし、今日、夏みかんの栽培が盛んになるにつれ、そのような人々も、少しの空き地があれば、夏みかんを栽培するようになりました。こうして、夏みかんは萩の名産となり、全国の人々に好まれ、評判の果実となりました』

小幡高政旧宅地（旧田中別邸）にある橙園之記

町並みに表れる時代の流れを感じてみよう！

●時代を伝える石垣

城下の石垣を見ると、石の加工や積み方の違いから時代の重なりを知ることができます。きれいに整えられた下の段は江戸期のもので、乱雑に積まれた上の段は明治期のものと考えられます。

●土塀と夏みかん

武家屋敷を夏みかん畑に変えたことで、その周囲にあった土塀は、夏みかんの風除けとして有効活用されました。土塀の上からのぞく夏みかんの風景は萩独特の景観です。

マップに🍊ポイントを掲載しています。

●幕末の志士も眺めていた美しい風景

● 橋本川河畔の風景

橋本川沿いには大きな松の並木があり、美しい河畔の風景を作っています。今も川沿いには川を眺める別荘の形の屋敷が所々に残っていて、萩八景遊覧船では橋本川からこれらを眺める事ができます。

● 菊ヶ浜の風景

菊ヶ浜からは、美しい夕焼けや漁火の夕景を眺めることができます。菊ヶ浜から見える島々は「萩六島」と呼ばれ、火山噴火でできた溶岩台地の島です。平らな溶岩台地は世界的にも貴重な景観です。

※1写真：春風文庫蔵、※2肖像画：群馬県立歴史博物館蔵、その他の肖像写真：萩博物館蔵

施設のご案内

萩博物館

萩まちじゅう博物館の中核施設。幕末維新関連の実物資料をはじめ萩の歴史・文化・自然を模型や映像を駆使して紹介

住　所：山口県萩市堀内355
ＴＥＬ：0838-25-6447　時　間：9：00～17：00
料　金：大人 520円、高・大学生 310円、小・中学生 100円
※NPO萩まちじゅう博物館による無料館内ガイドあり
休館日：年末年始、1～3月上旬の水曜日、1月・6月に臨時休館日あり※詳しくはHPへ

萩・明倫学舎

藩校跡に建つ日本最大の木造校舎を改修し、萩の観光起点に！

住　所：山口県萩市江向602
ＴＥＬ：0838-21-0304
時　間：9：00～17：00
料　金：本館　無料／2号館　大人 300円、高校生 200円、小・中学生 100円
休館日：2月の第1火曜日及びその翌日

山口県立萩美術館・浦上記念館

浮世絵版画や東洋陶磁器を展示。萩焼を展示・紹介する「陶芸館」も併設

住　所：山口県萩市平安古町586-1
ＴＥＬ：0838-24-2400
時　間：9：00～17：00
料　金：大人 400円、学生 200円
特別展示は別途観覧料が必要
休館日：月曜日、年末年始、展示替え期間ほか

菊屋家住宅

江戸初期の建築（国重文）の中に素晴らしい庭や美術品など貴重な資料を数多く展示

住　所：山口県萩市呉服町1-1
ＴＥＬ：0838-22-0005
時　間：9：00～17：00
料　金：大人 650円
中・高校生 350円、小学生 250円
休館日：12/31、臨時休館日あり

熊谷美術館

蔵の展示室に、歴代当主が集めた美術工芸品や文具類、シーボルトから贈られたピアノを展示

住　所：山口県萩市今魚店町47
ＴＥＬ：0838-25-5535
時　間：9：00～16：00
料　金：大人・大学生 700円、小・中・高校生 400円
休館日：水・木曜日（祝祭日は開館）ほか
※特別展開催時は料金や休館日が異なります。詳しくはHPへ

平安古かいまがり交流館

平安古の歴史を紹介するパネル有り。庭園を見ながらの休憩ポイントにおすすめ

住　所：山口県萩市平安古町145-1
ＴＥＬ：0838-25-5185
時　間：9：00～17：00
料　金：無料
休館日：毎週水曜日、年末年始
12～2月は毎週火・水曜日

堀内・平安古・城下町地区の季節暦

春
- ●萩・夏みかんまつり（旧田中別邸・5月中旬）
- ●萩・大茶会（萩城跡指月公園ほか・5月3日、4日）
- ●夏みかんの花・開花（5月上旬～中旬）
- ●お花見（3月末～4月）
- ●萩城下の古き雛たち（旧久保田家住宅、口羽家住宅、旧田中別邸ほか・2月3日～4月3日）
- ●萩八景遊覧船運航期間（3月～11月）
- ●萩観光シーズン開き（萩城跡指月公園・2月上旬）

夏
- ●萩・日本海大花火大会（8月1日）
- ●萩ヨットレース（7月下旬）
- ●菊ヶ浜海水浴場海開き（7月中旬）

秋
- ●金谷 天神祭り（萩時代まつり）
- 平安古備組・大名行列（11月中旬）
- ●萩・竹灯路物語（萩城城下町周辺・10月上旬）
- ●着物ウィークin萩（萩城城下町周辺・10月上旬）

冬
- ●萩城下町マラソン（12月第2日曜日）
- ●夏みかんの実の色付き（12月）

ガイドのご案内

NPO萩観光ガイド協会（城下町古地図コース他）
受付時間／9：00～17：00
申込／TEL 0838-25-3527
※7日前までに要予約

（一社）萩市観光協会
受付時間／9：00～17：00
申込／TEL 0838-25-1750
※要事前予約

NPO萩まちじゅう博物館（堀内古地図コース他）
受付時間／9：00～17：00
申込／TEL 0838-25-3177
※3日前までに要予約

R7.3（2025）現在

編集 発行　萩まちじゅう博物館推進委員会堀内部会
萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会

平成26年度文化庁文化芸術振興費補助金
（文化遺産を活かした地域活性化事業）

文化庁 Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

萩まちあるきマップ

堀内・平安古・城下町地区 おたからマップ ～幕末・明治維新編～

菊屋横町

旧益田家物見矢倉

平安古鍵曲

～維新の志士が往来した風景を今も残す町並み～

堀内は萩城三の丸にあたる上級武家地で、町筋に沿って長い土塀、石垣や長屋門が残っています。外堀の周囲に位置する平安古・城下町は中下級武士・町人が住み、御成道には豪商が軒を連ねていました。町筋は碁盤目状に画され、なまこ壁の土蔵や土塀、志士の旧宅などが残っており、江戸時代の面影をよくとどめています。特に、堀内と城下町に萩城跡を加えたエリアは幕末に西欧の技術を取り入れ、産業化を目指した当時の地域社会の姿をよくあらわしていることから、「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の1つ「萩城下町」として、世界遺産に登録されました。

幕末から明治維新の激動の時代、志士たちも駆け抜けた町並みをたどってみませんか。

このマップは萩まちじゅう博物館の各エリアのおたからを紹介するマップとしてシリーズで発行しています。詳しくは萩まちじゅう博物館 おたからWEBサイトでチェック!!
www.city.hagi.lg.jp/site/machihaku/

HagiMachijyuHakubutsukan 萩まちじゅう博物館

堀内・平安古・城下町 おたからマップ

幕末期の上級武家地を巡る　おすすめトレイル

1. 旧大野毛利家萩屋敷隅矢倉（萩博物館）
2. 北の総門
3. 旧益田家物見矢倉
4. 旧繁沢家長屋門
5. 旧周布家長屋門
6. 問田益田氏旧宅土塀
7. 国司信濃（親相）旧宅地
8. 旧福原家萩屋敷門
9. 旧厚狭毛利家萩屋敷長屋

もうちょっと足をのばして

10. 萩城跡（二の丸の銃眼土塀）
11. 天樹院墓所
12. 口羽家住宅
13. 堀内 鍵曲
14. 旧児玉家長屋門

ここもおすすめです

所要時間 約40分

萩八景遊覧船

● 運航期間 3月～11月 ※天候不良の場合運休

遊覧船のコースは萩城跡横の指月橋をスタートして堀内地区を眺めながら橋本川へ。松並木をくぐりながら外堀に続く新堀川へ。平安古松原を眺めながら平安古地区の旧田中別邸へ。そこでUターンします。日頃の萩観光では見る事のできない自然や景観を満喫してスタート地点へ戻ります。

※桜の開花時期には橋本川土手の美しい桜並木を船上から眺められます。
TEL0838-21-7708
※料金やコース情報は観光協会HPでご確認ください。

江戸時代の地図と見比べながら散策しよう!!

屋敷名がわかりやすい!!

「萩城下町絵図」200円　「萩城下町絵図」620円　「堀内マップ」無料
※萩博物館で発売・配布しています。

猫町伝説と萩にゃん

毛利輝元の家臣・長井元房には、かわいがっていた猫がいました。元房が亡くなると、猫はたいそう悲しみお墓のそばを離れず、ついには主人の後を追って亡くなりました。元房の屋敷があった通りは「猫町（ねこのちょう）」と呼ばれるようになりました。萩の観光キャラクター「萩にゃん。」は、この「猫町伝説」の主人公・忠義の猫のよみがえりです。

幕末に活躍した重臣たち

国司 信濃　清水 親知
福原 越後　益田右衛門介
※墓所が東光寺（旧松本村）にあります。

レンタサイクル

自転車に乗って堀内・平安古・城下町をじっくり見て回りませんか?

萩城跡方面から
- A スマイル貸自転車
- B 城山

中央公園から
- C 横山商店
- D 萩観光案内所

※この他にも旅館・ホテル等でレンタサイクルがあります。

トリシクル
※好きなポートで借りて、別のポートで返せる便利な電動シェアサイクルです。

幕末に活躍した志士たち

佐久間佐兵衛
宍戸左馬之助
竹内正兵衛
毛利 登人
渡辺内蔵太
※のちに野山獄で処刑。墓所は殉難十一烈士の一員として東光寺（旧松本村）にあります。

幕末の志士ゆかりの地コース

まぁーるバスに乗って幕末の志士ゆかりの地を巡ってみましょう!!
料金：1回 100円（1日乗車券 500円）

29 旧萩藩校明倫館を散策
- 「萩市役所」乗車
- ↓ 東回り（松陰先生）で移動
- 「萩博物館前」下車

城下町地区や堀内地区を散策
- 「萩城跡・指月公園入口・北門屋敷入口」で乗車
- ↓ 西回り（晋作くん）で移動
- 「久坂玄瑞誕生地前」下車

平安古地区を散策
- 「平安古」乗車
- ↓ 西回り（晋作くん）で移動
- 「萩・明倫センター」下車

歴史と水の町・平安古を巡る　おすすめトレイル

15 旧田中別邸 ▶ 16 鍵曲（平安古） ▶ 17 坪井九右衛門旧宅 ▶ 18 久坂玄瑞誕生地 ▶ 19 村田清風別宅跡 ▶ 20 平安橋

藩政時代の面影を感じる城下町を巡る　おすすめトレイル

21 江戸屋横町
22 円政寺
23 木戸孝允旧宅
24 旧久保田家住宅
25 菊屋家住宅
26 菊屋横町
27 高杉晋作誕生地
28 晋作広場

29 旧萩藩校明倫館／萩・明倫学舎
幕末における長州藩の人材育成に大きく貢献した藩校。現在は、剣・槍術場の有備館や遊泳術や水中騎馬の練習が行われ日本最古のプールと呼ばれている水練池などが残る。
旧明倫小学校の木造校舎に、観光インフォメーションセンターや幕末ミュージアム、世界遺産とジオパークのビジターセンター、萩ならではの旬の味覚が堪能できるレストランなどを併設した萩の新たな観光起点。

凡例
まあーるバス 西回りコース / まあーるバス 東回りコース / まあーるバス バス停 / P 駐車場 / 有料駐車場 / 公衆トイレ / 多目的トイレ / オストメイト / レンタサイクル / シェアサイクル / 夏みかん / 桜 / 松